



開学 100 周年に向けて

生涯学びを楽しむ

Enjoy Learning for Life

2020 年度 事業計画書

学校法人 名城大学

「教職協働による改革を」



理事長 立花 貞司

現在、世界的規模で進む激しい社会的変化の中で、予測不可能な時代を生き抜く人材を輩出していくことが求められ、我々教育機関に対する期待はますます大きなものとなっています。また、少子化が進む中、大学進学率の大幅な上昇は見込めず、大学・高校間での学生・生徒の獲得競争が激化することは必至です。

そうした中、本法人では、立学精神である「穏健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する」に基づき、社会が求めるバランス感覚と実行力を兼ね備えた人材の育成に努め、開学 100 周年の 2026 年を目標年とする戦略プランとして「Meijo Strategy-2026 (MS-26)」を策定し、価値観として「生涯学びを楽しむ」という言葉を掲げています。全ての学生・生徒が、本学の教育によって「学ぶ楽しさ」に気づき、人生を楽しみながら生涯学び続けてほしいという願いを込め、卒業後の人生も見据えた教育を展望しています。

2020 年度は、新たな内部質保証システムや教員業績評価制度、中長期財政プランや事務職員を対象とする新たな人事制度といったこれまでに構築してきた制度の更なる充実・発展に尽力し、実際に運用していく段階となります。

大学では、主体的な学びを促進することを目的に、「学びのコミュニティ創出支援事業」や「Enjoy Learning プロジェクト」等の各種教育プログラムについて、効果検証を実施し、更なる改善に向けた検討を開始します。

研究分野では、2019 年度に本学で初めて「テクノフェア」を開催しましたが、産官学連携体制の強化を行ってきたことを踏まえ、2020 年度は産官学連携による共同研究の推進に積極的に取り組みます。

附属高等学校では、スーパー・サイエンス・ハイスクール (SSH)、スーパー・グローバル・ハイスクール (SGH) 事業で培った教育プログラムを始めとした、生徒の意欲を引き出し「突破力」を育む各種教育プログラムの開発・充実を推進し、地域社会の期待に応えていきます。

本法人が指定管理法人として運営する愛知総合工科高等学校専攻科は、モニタリング調査の総合評価において A 評価を取得し、また東京モーターショーへの出展等着実に実績を重ねており、2020 年度もその活動を更に充実・発展させてまいります。

社会課題である「持続可能な開発目標 (SDGs)」の推進については、その実装において教育機関が担う役割は大きく、本法人においても、事業を通じて積極的に取り組んでいきます。

そして、開学 100 周年を見据え、その指針となる 2027 年度以降の将来ビジョンとして策定した「中部から世界へ 創造型実学の名城大学」の具現化に向けた記念事業の検討を加速していきます。

今後も、常に「学生・生徒第一」という思いを持ち、MS-26 戦略プランに基づく施策をさらに推進し、学生・生徒が大学生活、高校生活に満足して卒業した結果、母校を誇りに思える学校づくりに、「教職協働」で取り組んでいきます。

2020 年 3 月

2015-2026

MS-26 戦略プラン

—開学 100 周年に向けて—

立学の精神：「穏健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する」

【大学・高校に関わる全ての人達と共有したい価値観】
生涯学びを楽しむ・・・「Enjoy Learning for Life」

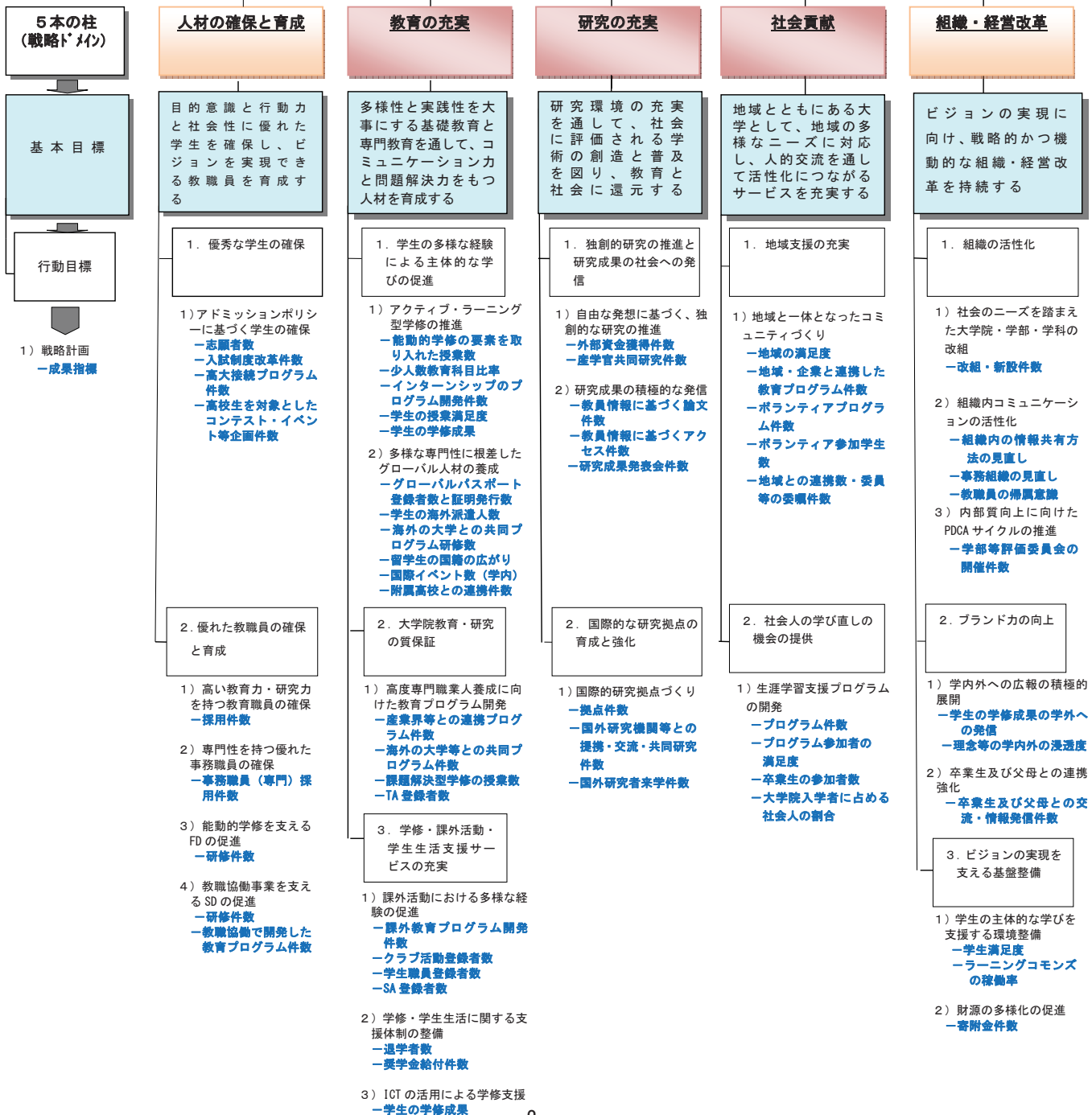
Vision：多様な経験を通して、学生が大きく羽ばたく「学びのコミュニティ」を創り広げる

Mission：（教育ミッション）主体的に学び続ける「実行力ある教養人」を育てる

（研究ミッション）「学問の探究と理論の応用」を通して、成果を教育と社会に還元する

（社会貢献ミッション）社会との「人的交流」を通して、地域の活性化に貢献する

Key Performance Indicators (KPI)：学生の大学に対する満足度、学生の学修成果、就職満足度、卒業後の帰属意識、教職員の帰属意識



2015-2026

MS-26 戦略プラン

-開学 100 周年に向けて-

立学の精神:「穏健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する」

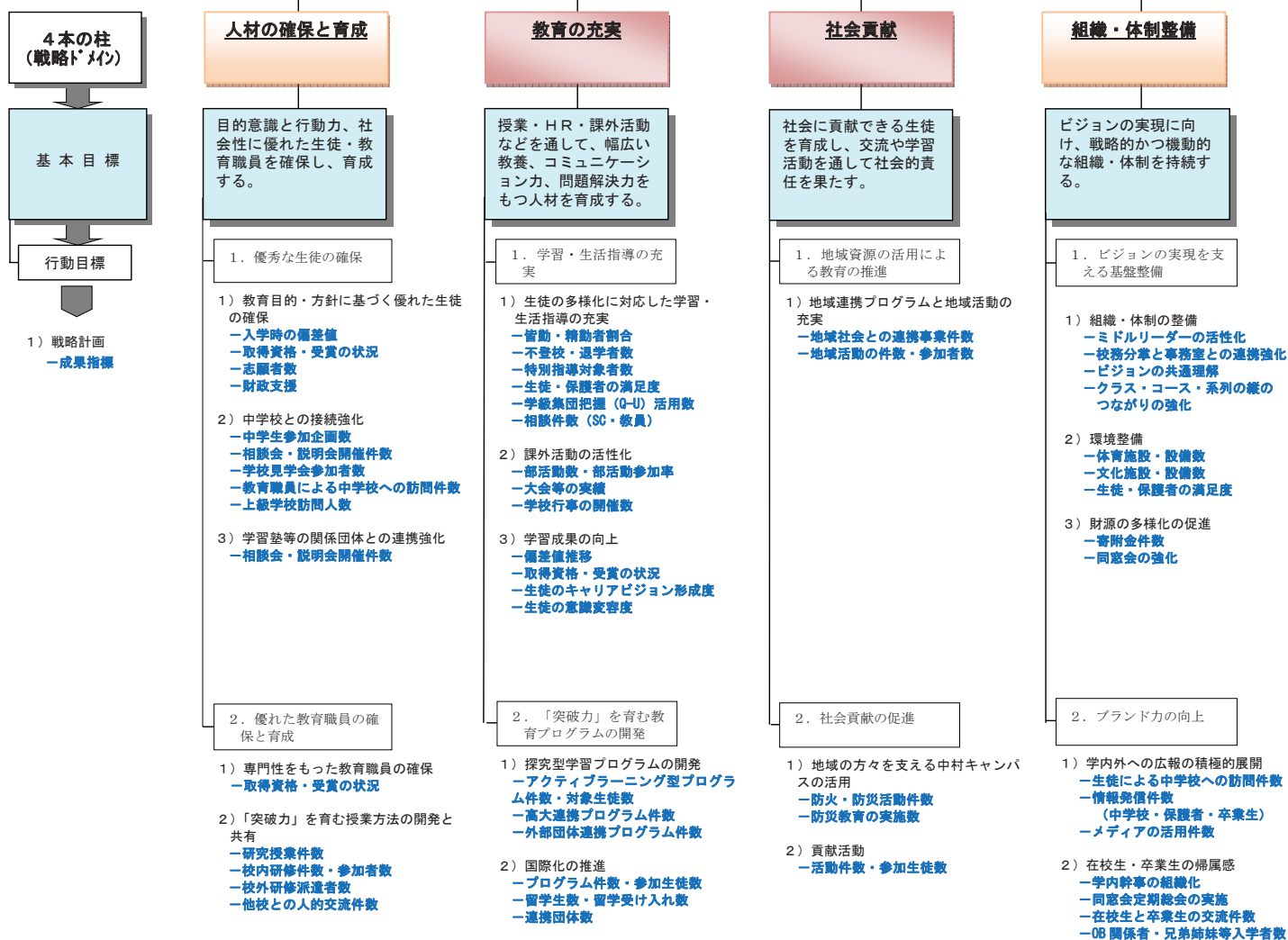
[大学・高校に関わる全ての人達と共有したい価値観]

生涯学びを楽しむ・・・「Enjoy Learning for Life」

Vision:「多様な経験」を創り出す「挑戦する学校」

Mission: (教育ミッション)「主体的に学ぶ力」と「突破力」を備えた生徒を育成する
 (社会貢献ミッション)「人的交流」や「学習活動」を通して、社会的責任を果たす

Key Performance Indicators (KPI): 卒業後の帰属意識、生徒・保護者の学校に対する満足度



大学

1) 人材の確保と育成

- ① アドミッションポリシーに基づき、多様で優秀な学生を確保する。
 - ・ 入学志願者の確保・増加及び多様で優秀な学生の増加に向けた取り組みを推進する。
- ② 教育活動の質保証・向上に資する FD (Faculty Development) 活動を推進する。
 - ・ 全学及び各学部・研究科における FD の実質化を推進する。

2) 教育の充実

- ① 学生の「主体的な学び」を促進する機会を創出する。
 - ・ 学生の多様な経験による主体的な学びを促進するための各種教育プログラムを推進するとともに、その成果を積極的に発信する（学びのコミュニティ創出支援事業、Enjoy Learning プロジェクト、名城大学チャレンジ支援プログラム等）。
 - ・ 2021 年度に向け、上記プログラムの検証を行い、より効果的なプログラムへの改善を検討する。
- ② 教育活動の質保証・向上を推進する。
 - ・ 本学で行われる教育の継続的改善活動である教学マネジメントシステムの実質化を推進する。
 - ・ 学修ポートフォリオの導入等により、学修成果の可視化を推進する。
 - ・ 教育活動の自己点検・評価に資する IR データ分析を推進する。
- ③ 国際化計画 2026 を推進し、多様な専門性に根差したグローバル人材を養成する。
 - ・ 学生の海外派遣人数を増加させるため、交換留学制度の充実や特色あるプログラムの運営を推進する。
 - ・ 多様な国々の留学生を増加させるため、国際日本学プログラムの運営を推進する。

3) 研究の充実

- ① 独創的研究を推進する。
 - ・ 学術研究奨励助成制度の活用により、独創的・先駆的な研究シーズの発掘・育成を推進する。
 - ・ 総合大学の強みを活かした学際的共同研究を加速させるため、総合研究所に設置する研究センターの活動を推進する。
 - ・ 世界最先端の研究拠点（光デバイス研究センター、ナノマテリアル研究センター等）における研究を推進する。
 - ・ 外部資金獲得に向け、各種支援策を推進する。
- ② 産官学連携を推進する。
 - ・ 組織的な産官学連携体制を構築するとともに、企画・マネジメント機能を確立する。
 - ・ 学外への積極的アプローチ及び学内制度の整備等により、共同研究件数を増加させる。
- ③ 研究成果を社会に還元・発信する。
 - ・ 本学教員の研究成果を対外的に発表する機会を活用するとともに、情報発信媒体の充実を推進する。
 - ・ 研究成果の社会実装を推進する。

4) 社会貢献

① 教育・研究活動を通じて社会課題の解決に取り組む。

- ・ 地域産業、地域社会・文化の発展に貢献するため、教育・研究活動や各種学生プロジェクト活動を推進する。

② 生涯学習や地域交流の機会を創出する。

- ・ 本学の専門性を活かした生涯学習の機会を提供するため、社会的要請を反映した公開講座や出前講義等の企画・運営を推進する。
- ・ 地域コミュニティ・自治体・企業・大学等の交流・活動の場の創出を推進する。

5) 組織・経営改革

① 開学 100 周年を迎えるに当たり、各種検討を継続するとともに、卒業生との連携を強化する。

- ・ 開学 100 周年事業の基本構想を策定する。
- ・ 開学 100 周年事業の具体的内容を検討する。
- ・ 卒業生を対象とした情報発信を積極的に行うとともに、各種行事を開催する。

② 教育・研究活動の充実に向けた体制を整備する。

- ・ 社会のニーズを踏まえた大学院・学部・学科の改組等を検討する。
- ・ 中長期財政プランを推進する。

高校

1) 人材の確保と育成

① 教育目的・方針に基づき、優れた生徒を確保する。

- ・ 入学志願者の確保・増加及び優れた生徒の増加に向けた取り組みを推進する。

2) 教育の充実

① 「突破力」を育む教育プログラムを推進する。

- ・ 生徒の意欲を引き出す体系的な探究型学習プログラムの開発・運用を推進する。
- ・ 「多様な経験」を創出する国際交流プログラムを推進する。

② 生徒の多様化に対応した学習・生活指導を充実する。

- ・ 基礎学力向上及び生徒一人ひとりの学力に合わせた教科指導の実現に向けたプログラム開発を推進する。
- ・ 総合的な生活指導を推進する。

3) 社会貢献

① 地域貢献を推進する。

- ・ 地域における社会貢献活動を推進する。

4) 組織・体制整備

① 開学 100 周年を迎えるに当たり、各種検討を継続するとともに、卒業生との連携を強化する。

- ・ 開学 100 周年事業の基本構想を策定する。
- ・ 開学 100 周年事業の具体的内容を検討する。
- ・ 卒業生を対象とした情報発信を積極的に行うとともに、各種行事を開催する。

② 教育活動の充実に向けた体制を整備する。

- ・ 中長期財政プランを推進する。

以上

編集・発行



名城大学 経営本部 総合政策部

TEL : (052)838-2004

FAX : (052)832-2317

E-Mail : osousei@ccmails.meijo-u.ac.jp